



御館中通信

福島県郡山市立御館中学校
令和5年3月10日発行
第17号
<3年生最終号>
文責 校長 大内 晋

ご卒業おめでとうございます！

13日は、本校第76回卒業証書授与式です。12名の卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、「校長式辞」、PTA会長さんの「ご祝辞」、在校生代表「送辞」、卒業生代表「答辞」をしっかりと聴いてください。そしてそれぞれが思いを込めた式歌（「国歌」「花束」「絆」「校歌」）を会場に響かせてください。

卒業生の皆さんは、私が赴任した昨年は2年生で、担任は佐久間先生、副担任は村上先生でした。23名いた3年生の存在感が大きかったせいか、2年生がとても幼く見えていました。

それから約1年後（つまり去年の今頃）の3年生の卒業が迫る頃、佐久間先生に「いよいよ3年ですね。」と声をかけたら、「みんなほんとに穏やかで仲もすごいいんですが、すなおすぎてやさしすぎて心配です。」ということばが返ってきました。新副担任になった矢内先生からも、子どもたちの卒業した後のことまで心配しているのだと伝わり、私も共感できました。

しかし、日々の生活や様々な行事、部活動等で最上級生として活動していく中で、子どもたちは、体はもちろん、顔つきも考え方もどんどん成長したと、どの先生も感じていることと思います。私は、右上の写真にもある「本校の校風」の中で育った子どもたちの「明るさ・礼儀正しさ・落ち着き」は、社会に受け入れられると確信していますし、（確かに「～すぎる」と心配ではありますが、）ここまで真っ直ぐに育った姿を見ると、新しい環境でも「自分の思いを勇気をもって伝える力と善悪の判断・実行する力」を高めながら順応していくことができると思っています。それぞれがしっかりと自分の道を進んでくれることを祈念します。



卒業生の保護者の皆様、3年間大変お世話になりました。

（本校HPのQRコードは変わりません。卒業しても折に触れご覧ください）

校長先生の卒業式報告 3.9

昨日生徒会が企画した、校長の私だけが知らなかったウルトラサプライズ「校長先生の卒業式」の様子を、私の独白を入れて報告します。（3月31日をもって定年退職になります）

卒業式予行が終わった。時計を見ると4校時終了まで20分近くある。（歌の追加練習はしない？その後どうする？）と思ったら、生徒の何人かが席を立て動き出した。（片付け？「花束」の最後の「い～ま～」が弱い。うまく歌う自信のある生徒はもっと大きく遠慮しないで出すように伝えたいな～）と思いながら立ち上がったら「校長先生の卒業式を行います」というアナウンス。（え！？）驚いた。（以前に過去のHPを見ていた時に、前校長先生のそんな記事があったような・・・それで時間を残したのか！いつ準備したんだろう？）と慌てていると「校長先生はステージにご登壇下さい。」（え？ああ、ほんとにやってくれるんだ）と観念して登壇・着席した。まず生徒代表2名から立派な花かごと何かの入った袋をいただいた。次にBGM付きのPPによるプレゼンが始まった。予行開始前に（何で壁に白いスクリーンが出てるんだ？式本番で使わないはず、と思っていたけどこれのためか！）自分や生徒たちの画像に文章が付いている。（忖度しすぎだよ。この文作ったのは誰？）と思いながら見ていた。最後のスライドで「校長先生は少しこわいけど・・・」とあった。（やっぱりこわいのか？まあそうかな。）続いて「全校合唱」のアナウンス。（え？まさか校歌？）と思ったら、ステージすぐ下に生徒たちが出てきて一列に並んだ。そしてピアノの伴奏が流れ始めた。（「旅立ちの日に」だ！）とすぐ分かったがもう前奏だけでダメだった。今まで他の学校で何度も式歌として歌い、その度に『涙腺崩壊』してきた。一番前の列の生徒の顔が直視できない。歌声もできるだけ聞かないように上を向いても、生徒たちが自分に向かって歌っているのがわかる。（マスクを上の上にずらすしかない。でも式歌でもないのに何でこんなにうまく歌えてるんだ？）小学校の時に歌ったことがあることを後で知ったが、本当に素晴らしかった。合唱が終わった時、（これはぜひお礼を言いたい）と思ったら「校長先生から一言お願いします。」（よーし！）とマイクに進んだが、感謝の言葉は胸が詰まって出てこない。（マスクも限界だ）第一声が「教頭先生！これはどういうことですか！聞いてないですよ！！」になったのはそのせいだった。（生徒たちにはこれが照れ隠しだとわかったかな？それともやっぱり怖いな～と思ったかな？）

生徒の皆さん・先生方、私は「なんも言えねえ」くらいに感激しました。ありがとうございました。